

A 試験概要

1 平成28年度大学入試センター試験の主な変更点

- (1) 高等学校学習指導要領の改訂に対応した出題教科・科目
- 高等学校では新しい学習指導要領に基づいて編成された新教育課程の授業が行われています。これを受け平成 28 年度大学入試センター試験では、全ての教科・科目について新教育課程に基づいて試験問題を出題します。
- なお、新しい学習指導要領への対応に伴う、旧教育課程履修者に対する経過措置は講じません。
- (2) 「工業数理基礎」について
- 「工業数理基礎」については、平成28年度大学入試センター試験に限り、旧教育課程履修者のための出題科目として、従前と同様の試験時間（60分）、配点（100点）により出題します。
- したがって、新教育課程履修者は「工業数理基礎」を選択解答できません。「工業数理基礎」の受験を希望する志願者は、志望大学が「工業数理基礎」を選択科目として認めているかどうかを募集要項等でよく確認するとともに、自分が旧教育課程履修者に該当するかどうかを次の(3)で必ず確認した上で出願してください。

(3) 「新教育課程履修者」と「旧教育課程履修者」

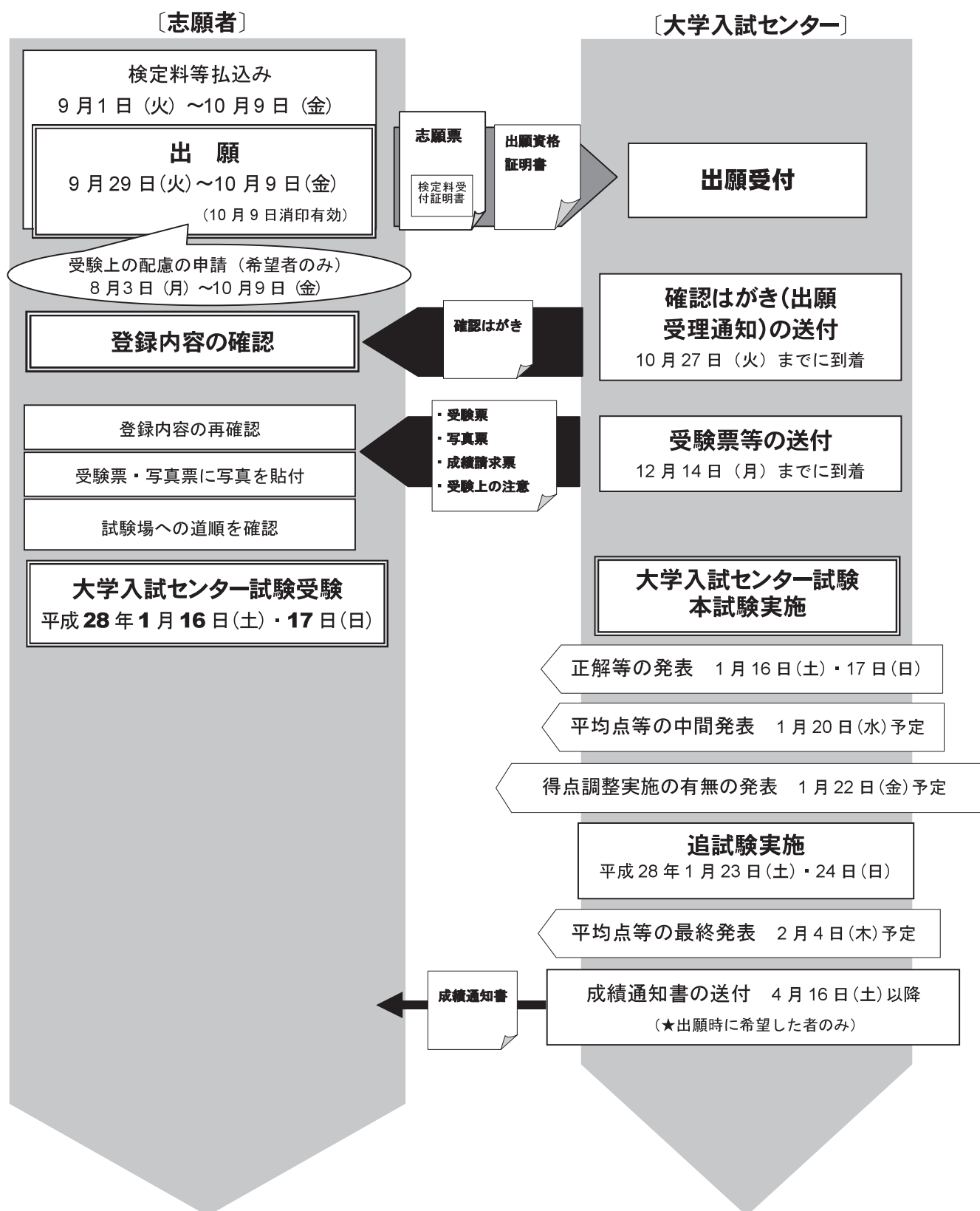
新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に平成 25 年 4 月に入学し、平成 28 年 3 月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に平成 25 年 4 月に進級し、平成 28 年 3 月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 * 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を平成 28 年 3 月卒業見込みであるが、入学は平成 25 年 3 月以前の者など、上記に該当しない者

なお、この受験案内では主な用語について、次のように略記します。

・新教育課程履修者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 新課程履修者

・旧教育課程履修者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 旧課程履修者

2 平成 28 年度大学入試センター試験実施日程



3 出題教科・科目等

(1) 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点) (→注1)
国語		「国語」	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。(→注2)		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	「倫理、政治・経済」は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。(→注3) なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注4)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			
数学	①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅰ・数学A」は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」※ 「情報関係基礎」※	「数学Ⅱ・数学B」は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕 「簿記・会計」は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。 「情報関係基礎」は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分(100点)
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点) (→注5)
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」には、一部に選択問題を配置する。	A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注4)
外国語		「英語」 「ドイツ語」※ 「フランス語」※ 「中国語」※ 「韓国語」※ (→注6)	「英語」は、「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	【筆記】 80分(200点) 【リスニング】 (「英語」のみ) 60分(うち解答時間30分) (50点)

- (注1) 国語及び外国語（「英語」を除く。）は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、筆記とリスニングに試験時間を分けます。
- (注2) 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問 100点)、古典(古文(1問 50点)、漢文(1問 50点))」とします。
なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。
- (注3) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」，「日本史A」と「日本史B」，「地理A」と「地理B」，「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せを指します。
- (注4) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行いますが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とします。
- (注5) 「理科①」については、1科目のみの受験は認めません。
- (注6) 外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とします。
なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

(2) 「工業数理基礎」の登録方法等

平成28年度大学入試センター試験に限り、旧課程履修者のための出題科目として、「工業数理基礎」を従前と同様の試験時間（60分）、配点（100点）により出題します。このため、旧課程履修者のうち別冊子の配付を希望する者は、「数学②」の「数学Ⅱ」，「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」及び「情報関係基礎」の4科目に「工業数理基礎」を合わせ、計5科目のうちから1科目を選択解答できます。

なお、新課程履修者は「工業数理基礎」を選択解答できません。

ア 登録方法

「工業数理基礎」の受験を希望する場合は、出願時に志願票の受験教科欄で数学を「受験する」と登録し、併せて数学②の別冊子の配付を「希望する」と登録してください。

イ 試験当日の科目選択方法

試験当日は、数学②の問題冊子（「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」を掲載）と、数学②の別冊子（「簿記・会計」「情報関係基礎」「工業数理基礎」を掲載）の両方が配付されますので、これらの5科目のうちから1科目を選択解答できます。

4 試験期日・試験時間割

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間 (→注 1, 2)
平成 28 年 1 月 16 日(土)	地理歴史 公 民	「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理, 政治・経済」	2 科目受験 9:30～11:40 (→注 3) 1 科目受験 10:40～11:40 (→注 3)
	国 語	「国語」	13:00～14:20
	外 国 語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	【筆記】 15:10～16:30 ----- 【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
1 月 17 日(日)	理 科 ①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30 (→注 4)
	数 学 ①	「数学 I」「数学 I・数学 A」	11:20～12:20
	数 学 ②	「数学 II」「数学 II・数学 B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」 「工業数理基礎」	13:40～14:40
	理 科 ②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	2 科目受験 15:30～17:40 (→注 3) 1 科目受験 16:40～17:40 (→注 3)

(注 1) 試験室への入室時刻については、受験票 (→p.30) とともに送付する**受験上の注意**において指示します。

(注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻 (17:10) までに入室していない場合は受験することができません。

(注 3) 「地理歴史, 公民」及び「理科②」については、登録した科目数 (1 科目又は 2 科目) によって試験開始時刻が異なります。「2 科目受験する」と登録した場合は、試験当日に 1 科目のみを受験する (1 科目だけ受験を取りやめる) ことはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度 (「地理歴史, 公民」は 9:50, 「理科②」は 15:50) までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間の受験は一切できません。また、第 1 解答科目のみ受験し、途中退室することもできません。

なお、第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は、トイレ等で一時退室することはできません (→p.46)。

(注 4) 「理科①」は試験時間 60 分で必ず 2 科目を選択解答してください。1 科目のみの受験はできません。